

平成 20 年 5 月 28 日

報道提供資料

平成 19 年度市営住宅の耐震診断結果と今後の耐震対策について

問合せ先

まちづくり局市街地開発部

住宅建設担当 044-200-2998

住宅管理課 044-200-2948

1. 市営住宅に関する耐震対策について

平成 18 年 1 月 26 日に施行された「建築物の耐震改修の促進に関する法律」（以下「耐震改修促進法」という。）に基づき告示された「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針」（以下「基本方針」という。）では、「国及び地方公共団体においては各施設の耐震診断を速やかに行ない、耐久性に係るリストを作成、公表するとともに、整備目標及び整備プログラムの策定等を行ない、計画的かつ重点的な耐震化の促進に積極的に取り組むべきである」とされています。

国土交通省では、こうした「耐震改修促進法」及び「基本方針」を受けて、官庁施設の耐震診断結果、耐震性の現況及び今後の耐震化の目標を平成 18 年 8 月に公表しました。

本市においても、平成 19 年 4 月に耐震改修促進法第 5 条第 7 項による「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的な方針」及び「神奈川県耐震改修促進計画」を踏まえて「川崎市耐震改修促進計画」（以下「促進計画」という。）を策定しました。

この「促進計画」では、民間建築物と公共建築物について、耐震化の現状と耐震化の目標を達成するための耐震対策必要棟数等を定め、計画的に対策を進めています。

【市営住宅の耐震診断対象住棟数】

旧耐震設計基準に基づき建設された 301 棟のうち、建替や用途廃止を予定しているものなどを除く 201 棟の市営住宅について耐震診断の対象としています。このうち平成 19 年度に 62 棟の耐震診断を実施しました。

2. 平成 19 年度耐震診断結果

平成 19 年度に 62 棟の耐震診断を実施した結果、ランク A が 13 棟、ランク B が 47 棟、ランク C が 2 棟という耐震診断結果になりました。住棟別の内訳は次表のとおりです。

ランク	住棟名
A (13 棟)	河原町 1・2・3・12 号棟、明石穂 1・4・7・8 号棟、有馬第一 5 号棟 新作 2・3・4・7 号棟
B (47 棟)	明石穂 2・3・5・6・9～12 号棟、新作 1・5・6・8 号棟 有馬第一 1～4・6～19 号棟、上作延 1～8 号棟、京町耐火 A 1・2 号棟 京町耐火 B、京町耐火 C 1・4 号棟、観音、日向、菅生 A・B 号棟
C (2 棟)	木月耐火 B・C 号棟

【ABCランク分類について】

ABC のランク付けについては、想定震度規模を気象庁震度階の 6 強から 7 程度の震動が発生した場合を想定して耐震診断を実施し、その結果得られた各建築物の「I s 値」の数値に基づき分類しています。

ランク	耐震改修促進法による分類
A	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
B	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
C	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

耐震診断の結果ランク A、ランク B と判定された住棟であっても、震度 5 強程度の中規模地震では倒壊又は崩壊しない構造設計に基づいて建設されています。

3. 平成 19 年度の耐震診断結果に基づく耐震対策

ランク	耐震対策
A	速やかに基本・実施設計を進め、平成 22 年度までに完了予定
B	順次、耐震対策を実施し平成 27 年度までに完了予定
C	耐震対策は不要

ランク B の耐震改修工事は建物の構造等技術的な検証や耐用年数による影響等も考慮し、総合的な観点から順次基本・実施設計を進めます。

4. 平成 20 年度の耐震診断について

促進計画においては、平成 20、21 年度の 2 ヶ年で市営住宅の残り 139 棟の耐震診断を実施する計画としていましたが、平成 19 年度の診断結果を受け、平成 20 年度に残り 139 棟全ての耐震診断を行うこととし、その結果に基づき、順次耐震対策に取り組んでいきます。

5. I s 値について

【I s 値】

I s 値とは「構造耐震指標」といい、昭和 56 年（1981 年）5 月 31 日以前に工事に着手した建築物に適用される耐震改修促進法に基づく耐震性能を表す指標で数値が大きいほど耐震性能が高いことを示します。基準値となる 0.6 未満の住棟が耐震改修対象とされています。

ランク別と I s 値については、ランク A は I s 値 0.3 未満、ランク B は I s 値 0.3 以上 0.6 未満、ランク C は I s 値 0.6 以上としています。

なお、昭和 56 年 6 月 1 日以降に工事に着手した建築物に適用される新耐震基準の必要保有水平耐力に対する保有水平耐力の比（基準値 1.0）とは異なります。

平成19年度 号棟別耐震診断結果

※  耐震対策が不要な市営住宅

NO	住宅名	棟名	所在地	建設年度	戸数	構造・階数		診断結果		備考			
						構造	地上階数	ランク	I s 値				
1	河原町	1号棟	幸区河原町	昭和45年	408	SRC	14	A	0.16~0.76				
2		2号棟		昭和46年	724				0.16~1.13				
3		3号棟		昭和46年	306				0.22~0.82				
4		12号棟		昭和47年	160				0.15~1.26				
5	明石穂	1号棟	高津区久末	昭和40年		RC	5	A	0.29~2.46				
6		2号棟							4	B	0.34~2.50		
7		3号棟							40	5	B	0.33~2.57	
8		4号棟							20	5	A	0.29~2.46	
9		5号棟							18	3	B	0.46~2.83	
10		6号棟							24	4	B	0.34~2.50	
11		7号棟							20	5	A	0.29~2.46	
12		8号棟							30	5	A	0.29~2.24	
13		9号棟							32	4	B	0.39~2.45	
14		10号棟							30	5	B	0.37~2.56	
15		11号棟							30	5	B	0.34~2.30	
16		12号棟							30	5	B	0.34~2.30	
17	新作	1号棟	高津区新作3丁目	昭和41年		RC	5	B	0.32~2.58				
18		2号棟							40	5	A	0.28~2.07	
19		3号棟							30	5	A	0.28~2.13	
20		4号棟							30	5	A	0.28~2.13	
21		5号棟							24	4	B	0.35~2.47	
22		6号棟							24	4	B	0.35~2.47	
23		7号棟							30	5	A	0.28~2.13	
24		8号棟							24	4	B	0.41~2.42	
25	有馬第1	1号棟	宮前区東有馬5丁目	昭和43年	30	RC	5	B	0.30~2.70				
26		2号棟		昭和42年	40				5	B	0.31~2.66		
27		3号棟		昭和43年	20				5	B	0.30~2.96		
28		4号棟		昭和43年	30				5	B	0.30~2.70		
29		5号棟		昭和42年	40				5	A	0.27~2.54		
30		6号棟		昭和43年	20				5	B	0.30~2.96		
31		7号棟		昭和43年	30				5	B	0.30~2.70		
32		8号棟		昭和42年	30				5	B	0.34~2.73		
33		9号棟		昭和42年	24				4	B	0.35~2.53		
34		10号棟		昭和42年	30				5	B	0.32~2.29		
35		11号棟		昭和42年	30				5	B	0.32~2.29		
36		12号棟		昭和42年	20				5	B	0.33~2.47		
37		13号棟		昭和42年	30				5	B	0.32~2.29		
38		14号棟		昭和42年	16				4	B	0.36~2.73		
39		15号棟		昭和43年	30				5	B	0.34~2.17		
40		16号棟		昭和43年	30				5	B	0.34~2.17		
41		17号棟		昭和43年	20				5	B	0.34~2.34		
42		18号棟		昭和42年	30				5	B	0.32~2.29		
43		19号棟		昭和42年	30				5	B	0.32~2.29		
44	上作延	1号棟	高津区上作延	昭和41年		RC	5	B	0.35~2.50				
45		2号棟							40	5		0.31~2.17	
46		3号棟							32	4		0.37~2.31	
47		4号棟							20	4		0.39~2.38	
48		5号棟							20	5		0.34~2.24	
49		6号棟							20	5		0.34~2.24	
50		7号棟							30	5		0.34~2.06	
51		8号棟							20	4		0.38~2.19	
52	京町耐火C	1号棟	川崎区京町3丁目	昭和42年	24	RC	4	B	0.36~2.32				
53		4号棟		18	3				0.38~2.27				

NO	住宅名	棟名	所在地	建設年度	戸数	構造・階数			診断結果 I s 値	備考
						構造	地上階数	ランク		
54	観音		川崎区観音1丁目	昭和50年	114	RC	6	B	0.50~3.96	
55	京町耐火A	1号棟	川崎区京町3丁目	昭和51年	42	SRC	7	B	0.43~2.86	
56		2号棟		昭和51年	42					
57	京町耐火B		川崎区京町3丁目	昭和52年	52	SRC, RC	7	B	0.54~8.80	
58	日向		高津区下作延	昭和50年	124	RC	6	B	0.44~3.43	
59	菅生	A号棟	宮前区犬蔵3丁目	昭和52年	113	SRC	7	B	0.51~4.27	
60		B号棟			50	RC	7		0.45~3.02	
61	木月耐火	B号棟	中原区木月4丁目	昭和53年	81	SRC	7	C	0.63~5.47	補強不要
62		C号棟			33				0.67~5.71	

【I s 値の表記について】

耐震診断は、一つの建物について各階ごとに縦方向、横方向の方向別に診断を行うので建築物の箇所ごとにI s 値が得られるため、表記については「最も小さい数値～最も大きい数値」で表しています。